

報道関係各位

2022年8月31日

オンキヨー株式会社

**第19回オンキヨー世界点字作文コンクール
作詞賞受賞作品の楽曲をハイレゾ音源で配信開始**



第19回オンキヨー世界点字作文コンクールにて、作詞賞を受賞されました「点字のおけいこ」について、Xandrie Japan 株式会社 が運営するハイレゾ音源配信サイト e-onkyo music にて、9月1日（木）より配信開始いたしますので、下記のとおり、お知らせいたします。

<作詞賞受賞作品のハイレゾ配信について>

「点字のおけいこ」は高井京子さんの作詞に、ミュージシャンで作/編曲家である徳永暁人さんが作曲。徳永さんご自身の演奏と歌唱による録音が行われた楽曲です。完成した楽曲は、Xandrie Japan株式会社が運営するハイレゾ音源配信サイト e-onkyo music にて、ダウンロードいただけます。

【配信タイトル】

■「点字のおけいこ」/徳永暁人

ハイレゾ音源 96khz/24bit(WAV,flac) 524円

作詞：高井京子 作/編曲/歌唱：徳永暁人

配信ページ：<https://www.e-onkyo.com/music/album/toku0016/>

なお、作詞賞の選考にあたり、審査員をしていただいた松村由利子先生また受賞作品の作曲をご担当いただいた徳永暁人氏より講評をいただいております。

■講評：作詞賞審査員 松村由利子（歌人）



コロナ禍が長引く中、今回は明るく弾むような高井京子さんの「点字のおけいこ」が受賞作になりました。童謡のような雰囲気は、これまでの作詞賞受賞作品にはなかったものであり、新鮮な印象を受けました。子どもの言葉のような幼さを漂わせていますが、「てんてん」「点字」「でんぐりがえって」と韻を踏んでいるところなど楽しく工夫されています。「裏から打つんだよ」「折り曲げてポストに入れないでね」といった、点字というものへの理解に役立つ具体的な事実がさりげなく織り込まれている点が巧みです。「あら まちがえたよ」「読むのも書くのも大変だー」など、ユーモラスなところにも好感を抱きました。

点字使用者が減少し続けている一方で、点訳者が足りないという状況があります。この歌が視覚障害者のみならず、点訳ボランティアに取り組む方たちを励まし、明るい気持ちにしてくれることを期待しています。勉強不足の私は長い間、視覚障害者の「視界」を漆黒の闇のように思っていました。しかし、見え方にはさまざまなバリエーションがあることなどを知り、今回の応募作品すべてをこれまで以上に味わい深く読みました。多様な見え方の中での「光」を思うとき、「悲しみの先に光」、「希望の光」のような表現に深い感動を覚えます。

たくさんの方々こうした「光」を分かち合うことができますように。

■講評：作詞賞受賞作品作曲 徳永暁人（作/編曲家、ミュージシャン）



高井京子さん、受賞おめでとうございます。

歌詞を初めて読ませていただいた時は、ものすごく心が温かくほのぼのしました。まだメロディーも何も付いていないのに、どこからかフワッと音楽が流れてくるような感覚があり、是非作曲させていただきたくまりました。

この歌詞は、点字を「読む」という行為だけでなく、「書く」という行為に焦点を当てたところがとてもクリエイティブで、前向きで、誰かと繋がろうとする人と人とのコミュニケーションを大事にしたいという思いを感じることができます。そして、「あらまちがえたよ」や「読むのも書くのも大変だー」など、うまくいかないということを前提に、それでも明るく頑張ろうという気持ちが押し付けではなく、自然と楽しんでいる感覚で伝わってきて、とても柔らかな気持ちになるところが好きです。短い中にも郵便屋さんに「折り曲げてしまわないでね」というような内容も盛り込まれていて、そっと優しいユーモアに包まれています。

作曲するにあたり、このほのぼのの感をどう表現しようか考えたのですが、温もりのある古めかしい木で出来た家の中のような様子が想像で浮かんできたので、音楽的に少しカントリーっぽいテイストを取り入れてみました。カントリーと言えばハーモニカの音色がとても似合うので、今回、世界的なコンクールで受賞され、様々なオーケストラやテレビ番組などでも演奏されている、クロマティックハーモニカ奏者の南里沙さんにレコーディングに参加していただきました。イントロからとても歌詞にあったほのぼのした雰囲気をかもし出してきていて、間奏にも素敵なアドリブを演奏してくれています。

そして、一番考えたのが「てんてん ぽつぽつ」という、一番印象的な歌詞の部分のメロディーをどうしようか？ということだったのですが、普通に考えると、短い音符の方が合うように思うところを、あえて長くして「てーん てーん」と歌っています。一つ一つ大事に点字を打つ姿をイメージしてあえて長い音符で歌ってみました。その雰囲気が伝わるといいなと思います。

それから、点字を打つ時の音を実際に調べて、その音をサンプリングというレコーディングの手法を使って、曲の中にリズム楽器の代わりに入れてあります。ヘッドホンで聞いた時に拍子の2拍目に真ん中でぽつぽつと鳴っている音です。聞こえますかね？アコースティックでとても温かい曲の仕上がりになりました。これも素敵な歌詞のイメージの力があつたからです。

イメージを広げてくださり、音楽を作らせていただき本当にありがとうございます。この曲がたくさんの方々の心に届きますように。

【第19回オンキヨー世界点字作文コンクール】

主催：オンキヨー株式会社／公益財団法人 日本教育科学研究所

協賛：株式会社シンクパワー／旭酒造株式会社／公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

Xandrie Japan株式会社

後援：厚生労働省／社会福祉法人 日本盲人福祉委員会／株式会社ギザ

* 本楽曲の収益は、日本教育科学研究所の協力のもと設立する基金に積み立て、世界点字作文コンクールの活性化に役立てられる予定です。

以上

(本件に関するお問合せ先)

オンキヨー株式会社 経営管理部 奥村